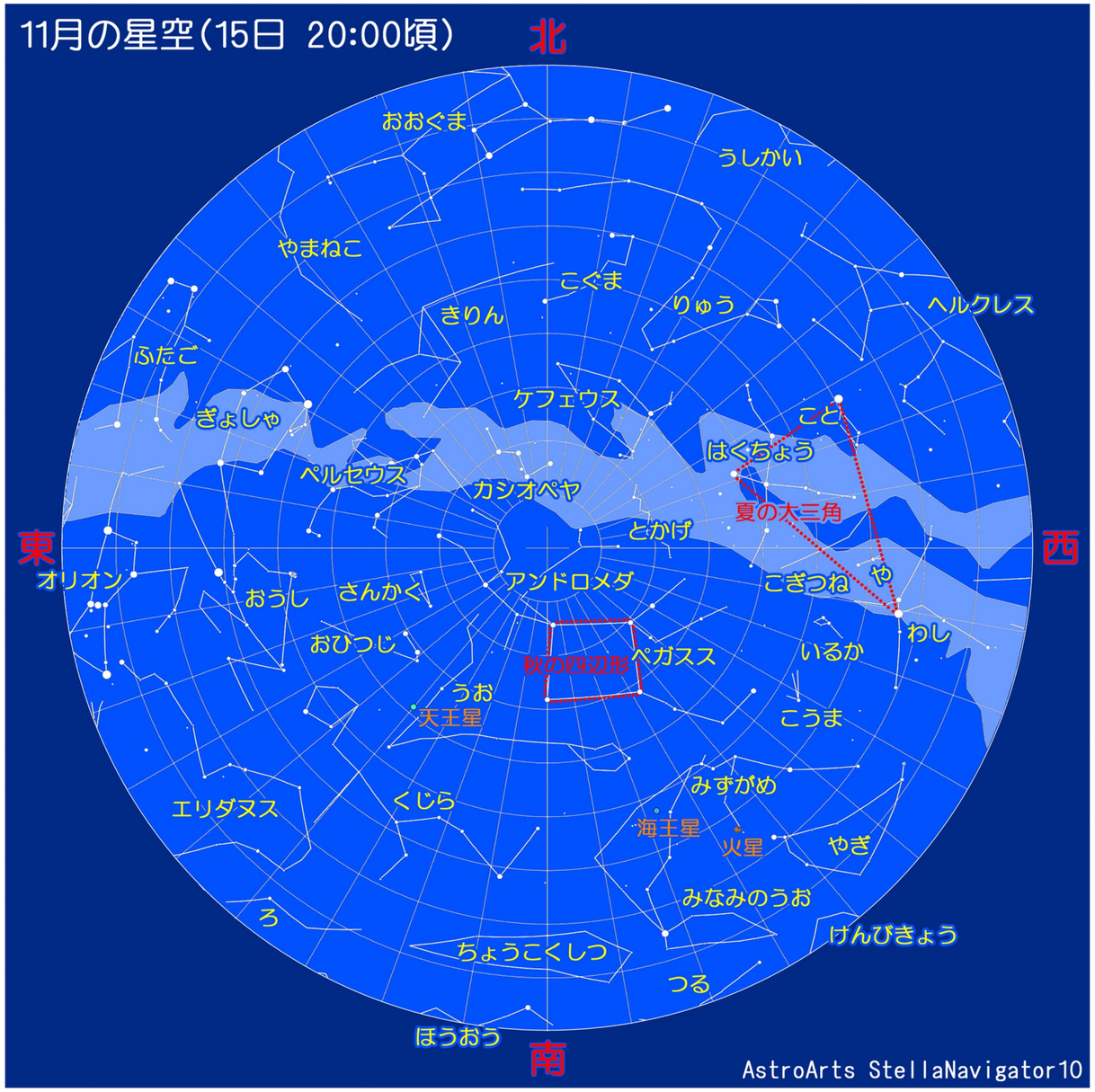
銀河の森天文台
2018年11月みどころ天体情報



今月のイチオシ！

☆天王星

太陽系の外側から２番目を周る惑星、天王星が見ごろです。直径は地球の約4倍もありますが、地球から遠く離れているためにあまり大きくは見えません。天王星の自転軸は約98度と、黄道面にほぼ横倒しなっています。これはかつて天王星に天体が2回衝突したことによると考えられています。

望遠鏡で見ると、天王星は緑がかった淡い青色に見えますので、海王星の青色と見比べてみましょう。

距離：約29億km

天王星

月

		出	没
1日	◑下弦	23:12	13:05
8日	●新月	06:12	16:52
15日	◑上弦	12:16	22:28
23日	○満月	16:12	05:55
30日	◑下弦	23:25	12:23

天文台から月を見ることができるのは11～26日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

海王星

太陽系のいちばん外側を周る惑星、海王星がみずがめ座に見えています。淡い青色が特徴で、小さく見えますが直径は地球の約3.9倍もあります。

太陽からの距離：約45億km

M45（散開星団）

「プレアデス星団」「すばる」と呼ばれている星団で約100個の若い星で構成されています。双眼鏡の視野に広がる姿は宝石箱のようです。枕草子に「星はすばる」と書かれているほど古くから親しまれてきた天体です。

距離：約410光年

M76（惑星状星雲）

M27「あれい状星雲」を小さくしたような形に見えることから、「小あれい星雲」と呼ばれています。

NGCカタログでは2つの明るい部分のうち、北側がNGC651、南側がNGC650と二つの番号がつけられています。

距離：約2000～6000光年

アルマク（重星）

色違いの重星では、はくちょう座のアルビレオが有名ですが、このアルマクも負けてはいません。オレンジ色と青色の星が寄り添う姿がとても綺麗です。

距離：約394光年

ガーネットスター（恒星）

ケフェウス座に位置する恒星で、非常に赤い色であることから、ウィリアム・ハーシェルによりガーネットスターと名付けられました。寿命を終えようとしている、赤色超巨星のひとつです。

距離：約5260光年

M15（球状星団）

秋を代表する球状星団でちょうどペガスス座の鼻先に位置しています。明るく非常に密集した球状星団で望遠鏡では星が密集した様子を観察することができます。

距離：約3万3600光年

ちょっとマニア

・メサルティム（重星）

おひつじ座に位置する二重星で、双子のように白く同じ明るさの星が二つ並んでいます。はじめて望遠鏡で発見された二重星として知られています。

距離：約173光年

その他おすすめ

- M27（惑星状星雲）
- M31（銀河）
- M57（惑星状星雲）
- NGC1514（惑星状星雲）
- NGC7331（銀河）
- NGC7662（惑星状星雲）
- フォーマルハウト（恒星）

11・12月の銀河の森天文台カレンダー

11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日